

小柳はやと通信

令和元年 冬号

令和2年が近づき、今年も残りわずかとなりました。本年の5月1日より「令和」の時代に入り半年が過ぎ、平成を懐かしくも感じます。黒部市の今年も、ももクロLive、シアターオリックスなどとても賑やかな大きなイベントが開催され、イベントは大盛況となり、市内全体も盛り上がった年となりました。一方で、国内では、地球温暖化の影響か、台風19号の惨状など大雨による災害が相次ぎ、自然災害の猛威を改めて感じる年でもありました。

さて、私は市議会で、引き続き議会運営委員会の委員長として議会運営の裏方を務めています。特に、今年は、懲罰委員会の設置など議会全体の倫理や在り方が大きく問われました。より信頼される議会となるよう努力を続けたいと思います。また、一人の議員としては、人口減少時代のなかで、明るく輝く未来を拓けるよう、様々な提言を続けています。同時に、防災対策や有害鳥獣対策、介護・福祉・医療など日常生活に必要な公的サービスをより充実できるように行政のチェック機能としての役割を意識しています。来年も元気に活動して参りますので、引き続きご指導、ご支持頂きますようお願い申し上げます。



12月議会公質問

問 次年度予算編成方針について
答 税収では個人市民税は堅調、固定資産税は減収が見込まれ、全体では、今年度を若干下回る見込み。将来見通しでは、就業者の減少が始まり個人市民税が減少する傾向。予算編成については、「選択の中の選択」により予算の中身にメリハリをつけていく。国の補正予算については、補正予算とあわせ13カ月予算として経済対策に効果ができるように、スピード感をもって対応に努める。一般財源の見通しは146億8,300万円を想定している。

問 水害に強いまちづくり
答 国は、一級河川である黒部川の「堤防強化」や「護岸整備」など、県は、二級河川9河川の「河道拡幅」や「護岸整備」など、市は準用河川9河川の「浚渫」や「護岸の補修」などを通して引き続き適正に管理していく。

問 上下水道料金改定について
答 令和3年度の改定を目指し12月より検討委員会を立ち上げ、来年9月を目途に提言書が提出される。上下水道の運営においては、受益者負担の原則の下、将来的に運営費用について、利用者料金で賄えるようになることが重要と考えている。また、「新水道ビジョン」に基づき、上水道では中坪配水場の強化、簡易水道では、宇奈月配水池耐震化、音沢内山水源の非常電源整備など設備更新について企業債を財源として取り組みたい。

問 第二期 地方創生 政策評価について
答 これまでの予算を消費したか、事業を行ったかを基本とする「アウトプット」評価から、具体的な政策目標を数値する「アウトカム」評価の導入を進めていく。より市民生活に沿った目標値を設定することで事業効果を高めたい。

活動報告

2019年1月～12月

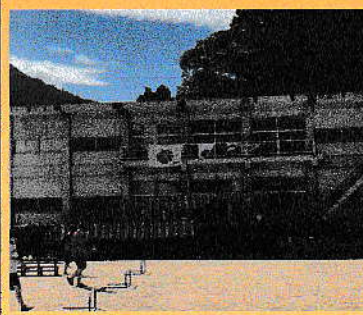
今年も多くの行事等にお声かけ頂きありがとうございました。来年も引き続きよろしくお願ひします。



下立ジャンボ餅つき大会



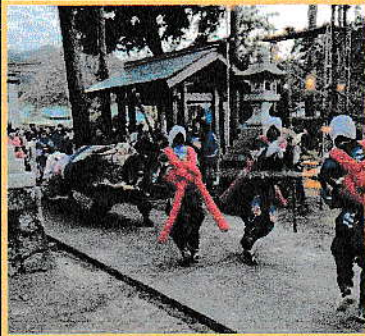
内山公民館祭り



音沢運動会



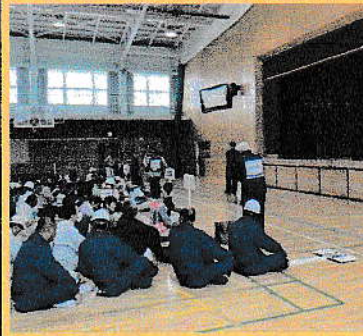
愛本公民館祭り



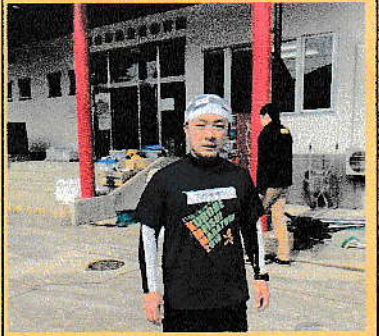
栃屋獅子舞



樺平にて都市農村交流



防災訓練



長野県 台風18号ボランティア



消防団15年表彰



どやまらんど夏祭り



トロッコ ももクロサイン鍵



カーター名水マラソン



立山黒部を愛する会



北方領土返還運動

インターネットのブログ、フェイスブックなど活用しています。

検索:「小柳はやと」又は、

ホームページです ⇒



日々の活動や議会活動を中心に報告しています。

様々な方法で情報発信できるよう努めて参ります。